

## 公益社団法人 彦根市シルバー人材センター

### 令和6年度 事業計画

#### 1 基本計画

日本の高齢者数は、総務省の推計によると令和5年(2023年)12月時点で3,622万人、高齢化率(全人口に占める65歳以上人口の割合)は29.0%となり、前年よりも高齢者数は3.1万人、高齢化率は0.09ポイント減少しました。

また、「日本の将来推計人口」によると、日本の総人口は長期の減少過程に入っており、令和13年に人口1億2,000万人を下回った後も減少を続け、令和38年には1億人を割って9,965万人になると推計されています。

このように人口減少傾向の中、令和5年版の「高齢社会白書」によると、今後、65歳以上人口は増加傾向が続き、「団塊の世代」が75歳以上となる令和7年には3,653万人に達する見込みで、その後も65歳以上人口は増加傾向が続き、令和25年に3,953万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。

総人口が減少する中で65歳以上の人口が増加することにより高齢化率は上昇を続け、令和19年に33.3%となり3人に1人が65歳以上の者となると見込まれています。

さらに、令和4年の労働力人口は、6,902万人のうち65歳～69歳の者は395万人、70歳以上の者は532万人となり、労働力人口総数に占める65歳以上の者の割合は13.4%と長期的には上昇傾向にあります。

このように高齢者の就労人口が増える背景には、労働力不足や国の高齢者就業施策、就業機会の多様化などの影響もあります。

一方、シルバー人材センターの会員は令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という未曾有の事態に見舞われ大幅に減少し、その後も前年同月比マイナスの状況が続いています。このため、全シ協では、令和6年度においては、この流れを反転させ、会員数の持続的な拡大に向けて取り組むこととされたところ です。

これらを踏まえ、彦根市シルバー人材センターでは令和6年度においても会員拡大を核に据えて、特に女性会員の拡大、企業退職（予定）者層への働きかけの強化、退会抑制、新しい生活様式に対応した多様な就業機会の開拓など、またデジタル社会に対応できるようデジタル技術を取り入れたシルバー事業の展開に努めます。特に、デジタル社会に対応できるよう会員向けに「スマホ・パソコン相談室」を充実していきます。

また、多発する事故の発生状況を踏まえ、安全就業の徹底に向けた取組を強化するとともに、資質や技術の向上ならびに健康確保等についても適切な対応が求められています。

このような状況下、高齢者の生きがいの充実と就業機会の確保、地域の活性化および社会参加を通じて地域に貢献するシルバー人材センターとして事業運営を進めてまいります。

令和6年度の当センターの年間契約金額の目標は、請負事業2億9,562万4千円、派遣事業1億6,805万9千円、総額4億6,368万3千円とし、前年度当初の計画額を約1,996万円下回る額としています。

また、会員数につきましては、ここ数年目標値を達成できなかったことを踏まえ令和元年度の数値に近づけることを目指して、さらなる女性会員の増加や退会者の抑制に努め令和6年度の目標会員数を1,122人といたします。

これらの実現に向け、令和6年度も次の6つの柱を重点項目として事業を展開してまいります。

- (1) 会員拡大
- (2) 就業機会の確保・拡大
- (3) 安全就業の徹底と適正就業の推進
- (4) 就業能力の向上
- (5) 組織の充実と財政基盤の強化
- (6) 社会参加活動の推進

## 2 事業実施計画

- (1) 会員拡大

- ・会員拡大に繋げるため、年2回発行の広報紙「シルバーひこね」に当センターの活動内容・魅力等を掲載し、市内の全戸に配布します。
- ・会員増加の実績があるセンターの先進事例を学び、実践します。
- ・就業開拓推進委員による入会説明会を毎月第2・第4木曜日に、ハローワークにおける出前入会説明会を毎月第1水曜日に、また、女性会員の拡大に注力するため、女性向け入会説明会を毎月第3水曜日に開催します。
- ・毎週水曜日にハローワークにおいて出張相談等を開催し、当センターの概要を説明します。
- ・少子高齢化社会における家事福祉サービス需要や企業等の退職者の就業意欲に応えるため、会員拡大の余地がある女性等の入会促進や企業退職者への啓発・勧誘を図ります。
- ・会員による新規会員の紹介制度を引続き実施します。
- ・毎年、ある程度の入会者はあるが、入会者数より退会者数が上回っているため退会の抑制に向けて、「働く・学ぶ・遊ぶ・参画する」というシルバーの魅力を実感できるよう、教養講座や健康講座などを実施するとともに、各サークルが活発に活動できるよう補助を行います。さらに「事務局たより」やホームページで情報発信します。
- ・令和6年1月から実施している「わいがや会」を充実していきます。

## (2) 就業機会の確保・拡大

- ・就業開拓推進委員会をはじめ会員・職員が積極的な営業活動を行い、新規事業の確保や既存事業の拡大を図ります。
- ・毎月発行する「事務局たより」に就業募集の案内を掲載するとともに、センター内掲示板への情報提供、令和3年2月に導入したSMS送信サービス等を活用して、就業の促進を図るとともに、デジタル社会に対応した新たな情報発信方法の導入も検討します。
- ・入会説明会や入会申込時に仕事の紹介をし、新規入会者の就業を促進します。
- ・公共事業における就業機会の確保・拡大のため、行政機関に働きかけます。

- ・彦根市との連携により取り組んでいる「介護予防・日常生活新総合事業」をはじめ、ニーズが高まっている家事援助や子育て支援、空き家管理サービスについて周知するとともに、就業機会の開拓に努めます。
- ・指定管理事業については、「中央駐車場」や「彦根市中老人福祉センター」の管理・運営を行うとともに、拡充に向けて検討していきます。
- ・放課後児童クラブについては、引続き派遣での受注を促進します。
- ・会員による発注者紹介制度を引続き実施します。
- ・就業機会確保推進員による未就業相談を毎週水曜日に開催し、会員の就業促進に努めます。
- ・ローテーション就業を徹底したワークシェアリングを推進し、公平・公正な就業機会の提供を図ります。

### (3) 安全就業の徹底と適正就業の推進

#### ア 安全就業の徹底

- ・事故ゼロを目指し、年間の安全就業推進計画を策定し、安全対策に努めます。
- ・業務の受注にあたっては、高齢者の安全就業に十分配慮します。
- ・安全保護具の着用を徹底するなど、安全就業基準を順守します。
- ・安全大会等を開催して、会員の安全意識の向上を図ります。
- ・安全委員による安全パトロールを定期的を実施します。
- ・万が一、事故が発生した場合は徹底した原因究明を行うとともに、「事務局たより」に事故の発生状況等を掲載して、全会員で共有します。
- ・安全就業に係る先進センターの効果的な安全対策の事例を学びます。
- ・自動車の安全運転講習会や自転車の講習会、また免許更新時に必要な「認知機能検査MOG I」を実施します。

#### イ 適正就業の推進

- ・適正就業要綱に基づく就業形態の適正化を図ります。
- ・センターが行う請負事業と派遣事業の相違について、会員および発注者に対し、丁寧な説明に努めます。

- ・地域ニーズの多様化に伴う就業形態について、不適正な就業として指摘を受けないよう、受注リストを活用して適正就業の徹底を図ります。
- ・推進委員による就業相談を開催します。

#### (4) 就業能力の向上

- ・剪定、除草、ハウスクリーニングやIT講習等により、技術・技能分野の会員拡大や会員育成を図ります。
- ・即戦力となる企業退職者への啓発・勧誘を図り、会員拡大にも資するよう、一般市民向け技能講習会の実施に努めます。
- ・誠実な対応と丁寧な仕事に加え、仕事の完成度を高めてセンターの信用をさらに強固にし、受注の継続と新たな就業機会の確保につなげるため、接遇研修や専門技能講習を適時開催します。

#### (5) 組織の充実と財政基盤の強化

##### ア 組織の充実

- ・会員自らが積極的にセンターの運営に携わるよう、各種委員会活動の充実と職域班・地域班の活性化に取り組みます。
- ・滋賀県シルバー人材センター連合会のサポートオフィスへの継続委託やOA機器の導入等による事務の効率化を図ります。
- ・事務局職員のレベルアップのため、オンライン研修をはじめ各種研修会等に積極的に参加します。また、事務局の活性化のためジョブローテーションを定期的に行います。

##### イ 財政基盤の強化

- ・事業計画に基づく事業運営が着実に遂行できるよう、国および彦根市へ支援要請を行うとともに、補助金の現状維持や受注拡大を要請し、財源確保に努めます。
- ・補助金の適正な活用と無駄のない経費の執行により、効率的な予算の執行を図ります。

- ・令和6年秋からのフリーランス新法には、全シ協や連合会と連携しながら対応していきます。また、必要に応じて事務費率についても再検討します。
- ・無駄な費用の削減に努め、健全な財政となるよう努めます。
- ・効率的な事務を行うため、より一層デジタル化を進めていきます。

#### (6) 社会参加活動の推進

- ・10月の「シルバー環境美化の日」に会員のボランティアによる清掃活動を実施します。
- ・自助具を製作する「ひこね自助具開発工房」のボランティア活動を支援します。
- ・市内の休耕田を借用した「シルバー農園」で野菜の栽培を行い、収穫物を市民に販売します。
- ・後期高齢者宅や障害をお持ちの方の家庭向けに、簡易な作業のお手伝いとして「お助け事業」の再開に努めます。
- ・会員による市民向けの「パソコン・スマホ教室」を開催します。
- ・市民向けに「認知機能検査MOG I」体験を拡充します。
- ・センターが開催する各種研修会やサークル活動に市民の参加を受け入れます。